

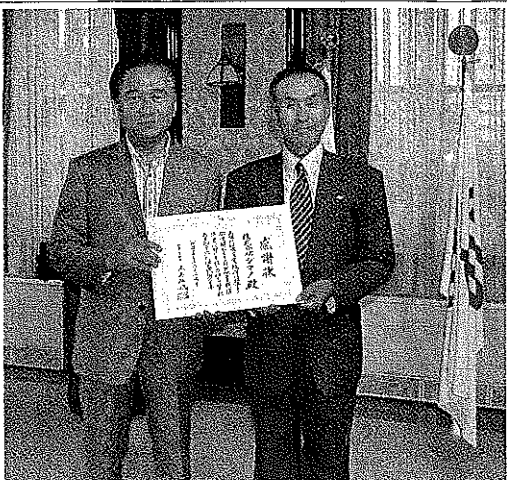
多額の寄付でマダイ栽培推進

シマノに黒岩知事感謝状

神奈川県

【横浜】神奈川県黒岩祐治知事は8月10日、横浜市中区の同県本庁舎3階知事室で、シマノ釣具事業部の人見康弘取締役開設設計部長に、マダイ遊漁者協力金に多額の寄付を続け、同県の栽培漁業推進に貢献してくれたと感謝状を贈った。

人見取締役は、同県栽培課長らが立ち会い、同知事から「水産業の振興に長ら一行とともに、同日対する理解ならびにマダイ栽培漁業に対し、多額の寄付をしてくれた」と



感謝状を手に黒岩知事と人見取締役

の感謝状を受け取った。同社は、同県栽培漁業協会が他に先駆けて、マダイ遊漁者協力金制度をスタートさせた平成13年度以降、同制度に賛同し、同社創立90周年を記念した今年8月11日の寄付を合わせ累計9回、合計1400万円を寄付。厳しい環境の中にある同県のマダイ種苗生産・放流を支えてきた。

感謝状贈呈式後の懇談で人見取締役は、「13年は当社の創立80周年の年で、それを記念してマダイの種苗生産・放流に寄付を始めた。当社として

は、常に水産資源の保護、釣場環境の保全に取り組んでおり、しかも大きくした種苗は海の中でも生育が順調になる」と、協力のきっかけと継続を同知事に紹介。

また、同協会の今井利為専務が栽培漁業は種苗を生産し、海に放流して自然に任せて育てる漁業と説明。さらに「本県下で釣人に釣り上げられたり、漁業者が漁獲するマダイの40%は、種苗を放流したもの。マダイの遊漁を持続するためにも、種苗生産・放流は必要不可欠」と話すと、同知事

は「栽培漁業という、サケに代表される事業」とうなづいていた。